# 滿洲日報


紙價錢五吊四百文至五吊
共上車三十餘輛
共來七十餘輛
六吊九百至六吊八百

一連紙 一連 一圓
一フールスカップ 仝 四圓
一中判洋紙 仝 二圓
一半紙 百枚 二十錢
一卷紙罫紙 四十枚綴 十二錢 十四錢

一籠笥 三十圓以上五十圓
一卓子 四圓五十錢以上十五圓
一卓子掛 六圓以上十二圓
一廚房用戶棚 七圓五十錢以上十圓

一長火鉢 八圓以上十二圓五十錢
一箱火鉢 二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢 一對 六圓以上九圓

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

廣告料 一ヶ月以內 ……
一長期連掲減價面議
發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社 (電話二九番)

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日一行一角五分登一月者每行每日一角登長年者價當面議從減 每張四百文



特別廣告

資本金貳千四百萬圓
積立金一千壹百五拾萬圓
本支店出張所
横濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺
電話 十番 支配人室 百八番 事務室
横濱正金銀行牛莊支店

○日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告
竹島丸 四月廿日 大沽、芝罘、長崎、門司、神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店 旗昌洋行 (電話廿六番)

瀛船出帆廣告
日勝丸 四月十七日午前六時發門司四日市行
頼朝丸 仝十九日入港廿日門司神戸行
日海丸 仝十九日日入港
松茂洋行船舶部 (電話五二番)

新荷着
朝日ビール
スペシヤル、ライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部 (電話五二番)

飯塚工程局材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞昨本十新到各種木料東洋炸子貨具價值以應各主顧局急之需園本主人啓

宅合名會社分莊
本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印并一切雜貨其名譽己傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋襪鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸
運輸部
這般特得官准開設火車轉運行於東西兩店并牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚
總司理人田中賴之助謹白 電話 東店五五 西店一〇三

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷 總司理人 葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚特此通知之 正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

仁裕號
保裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋紮身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街 東櫃(電話九十五番)
西義順棧內 西櫃(電話九十八番)

代代木烟公司
本行專售 日本官造紙烟 星象牌(斯達)櫻花牌(搥利)百合花牌(利利)均已馳名內外玆特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌(隆沽來福)清香撲鼻佳美適口而價值極廉 諸尊欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船
摩耶山丸 頼朝丸
專往東洋各埠
啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行幷各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒一概俱全另有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷 松茂洋行(電話五十二番)

三井 電話 第六十六號 第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近恕蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地(青堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候 (電話百二十八号)

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售、日本白米、

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行 電話 第六十六號 第九十一號

營口瀛華實學院 生徒募集 招入學生
今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し曩に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口 瀛華實學院
本學院對業諸生頗着成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便玆因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白
營口瀛華實學院

(周) 東清鐵道 裕和盛運輸局 (電話八十一號)
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年幷分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨定頭食物器具酒烟並代客報關裝船裝車令又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲 運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

材木販賣 荒物
秋田洋行
營口永世街第一八四號平野町
本店 下關 秋田寅之輔商店

税關手續
一船舶代理
一貨物取扱
一委托販賣
弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ艀船、市內貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依賴ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
綏定門街第五〇 營口英國領事館東首
三仁公司 (電話一五〇號) 小島榮蔵

上海 中井洋行 專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字運墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也 中井洋行

丸重洋行 貨物運輸
啓者本行前在營口蔓賣雜貨已有年今經關東總督府之特准開辦東清鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉値爲貨主之利便爲旨如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構內分莊面議不悞
電話 營口拾六番 牛家屯四拾八番

●雜貨卸小賣商 ●附日用食料品
●菓子製造販賣商
●委托販賣商
●土木建築受負業
●瀛車積運送業
新民府孫家街 東洋號

鐵嶺獎學彩票發售
由五彩至八彩共計八百貳拾六彩
彩票數 貳萬號 每號出售 票洋壹圓
一頭彩一號 得六仟圓
一貳彩一號 得三仟圓
一三彩一號 得壹仟圓
一四彩一號 得五佰圓
四月末日開彩
鐵嶺軍政署內獎學會彩開
營口天順吉代售

齒科名醫到營
治療齒痛之法爲衛生上必要之一端固未可以等閒視之也然本埠竟無良醫余嘗深以爲憾頃二三志士特請居留天津之齒科名醫田添豐三君來營即在舊高田洋行內從事治療先生前在天津法租界開業久爲中外人所信服其技術之良否玆不復贅如有患齒疾者請速至該處診視慎勿失此機會特此聲佈
營口有志者白

太古輪船公司
啓者本公司自派温州牛莊兩輪專走營口登州龍口一往一來接續不斷搭客配貨均由本行碼頭上落甚屬利便水脚素來公平船上應酬搭客無不週到歷經數年遠近馳名知者稱便用登報端以期廣告
營口 太古輪船公司

東京電報

●皇太子殿下還啓 生駒艦進水式の爲め呉軍港へ行啓遊ばされたる皇太子殿下には十三日還啓あらせらる

●陸軍の給養史編纂 參謀本部にては三十七八年戰役中に於ける給養衛生運送を各別に編纂する筈にて外松經理局長給養史編纂委員に任命せられたり

●米國大使到着期 新任米國大使ライト氏は五月十四日横濱到着の豫定なり

●武官の戰功授爵 開戰以前より陸軍少將以上の在官者は戰功に依り授爵せらるゝ筈なり

●近衛師團招魂祭 十五日青山練兵場にて近衛師團招魂祭を擧行す頗る盛會なり

●大勅祭の銃劍門 靖國神社大勅祭には高さ五十五間幅七間の大銃劍門を建て『壯勇義烈芳名不朽』の八字を彰す

●統監の慰問電 伊藤統監は過日議會にて卒倒せし獨乙首相ビユーロー公に向け慰問電を發せり

●保安規則の發表 韓國保安規則近日統監府令として發布せらるへし

(以上四月十五日發電)

●神宮奉納砲除幕式 伊勢神宮奉納の占領砲除幕式十五日擧行せらる

●蒙古郡王の入京 遊學の爲め來朝せる蒙古土爾扈特郡王は今朝入京せり

●警視廳改革の要點 警視廳官制改革の要點は高等警察事務に付總理及び內相の指揮監督を受け來りしを內相のみと爲すに在りて改革の發表は近きに在るべく主事部長等は已に辭表を提出せり

●駐韓軍の勳功調査 駐韓軍の勳功調査は近々完結すへし

●山林會の紀念總會 大日本山林會二十五年紀念會十五日開會

●濱離宮の觀櫻會 濱離宮本年觀櫻會は來る二十日頃なるへし

●臺灣又々強震 十四日臺灣嘉義地方又々第二回の強震あり被害夥多

●總督の韓帝謁見 大島關東總督及び眞鍋中將は十八日長谷川大將と共に韓帝に謁見の筈

(以上四月十六日發電)

北京電報

●長春の領事館設置 外部は各國政府の間に長春領事館設置の議あるを知り吉林將軍に對し其準備を命したりと傳へらる

●露國公使の照會 駐北京露國公使ポコチロフは外務部に向ひ烏里雅蘇臺に露國領事館を設置したき旨を照會せり

●交渉局設置の議 ポコチロフは庫倫地方に露淸の交渉事件夥多なるを以て交渉局設置の事を外務部に協議せり

(以上四月十五日發電)

●郵便事務の還附 總稅務司ロバートヘート管理中の郵便事務を淸國に還附せん說あり

●西比利亞滊船會社航路開始 西比利亞滊船會社は黒龍江並に松花江と墨爾根城に航路を開かんと準備中なり

(以上四月十六日發電)

倫敦電報

●噴火と伊國民の恐慌 伊國皇帝及び皇后の兩陛下はチープルス市に於て盛むに歡迎せられたり市民は噴火の爲めに非常の恐慌を感じ終日宗敎的行列を爲しつゝあり一般の市民は降灰を避けむが爲めに假面をかむり眼鏡をかけ塵避外套を着するを以てネープルス市は恰かも自働車旅行者の集合地の如た觀を呈せり昨夕刻より降灰稍ゝ減少せり

(四月十二日發電)

●モロツコ會議と佛國議院 ブールジヨア氏は佛國衆議院に於て演說して曰くモロツコ會議は公平相互の讓合に依り滿足なる結果を見るに至れり然も佛國の利益と面目とを傷けずモロツコ國に於ける佛國 特殊の利權は充分に認識せられたりと

●倫敦の第二義金 倫敦市長は日本饑饉民に對する寄附金の第二回拂込額金二萬圓を本日大使に送附せり

(以上四月十三日發電)

●伊國噴火の停熄 チープルス市に於ては降灰全く止み天氣晴朗ベスビウス噴火山も其姿を顯はせり市民も大に安堵し再び常業に從事するに至れり

●巴里郵便夫の同盟罷業 佛國巴里の郵便夫は同盟罷業を爲せり佛國政府は罷業者三百名を免職せり

●平和會議の延期 露國政府は米國政府の請求に應じヘーグ會議を延期すべし

●モロツコ會議と英國議會 ブールジヨア氏は議會に於ける演說中モロツコ會議の結局に關しては忠實なる同盟國露西亞及び信義ある友國英國に對して負ふ所大なる旨を述べたり

●獨帝の謝電と物議 獨國皇帝ウヰルヘルム陛下は墺匈聯合王國政府の外務大臣グルチヨウスキー伯に對して左の如く打電せられたり

朕は卿が忠實なる同盟國を代表してモロツコ會議に盡力せられしを感謝す卿は決鬪場裏に於て立派に附副人たるの役目を果せり朕は他日貴國の爲めに同じ役目に當ることを辭せざるへしと

此電報の一度ウインナ市に於て發表せらるゝや大に物議を惹起せり

(以上四月十四日發電)

雜報

## ●大連の諸關係を論す(三)

在大連 柳坡散士

(三) 大連の殖民關係

殖民政策の得失如何が直ちに其母國の富强を貫弱の素因となるは何人も認むる所にして近來世界の列國其殖民地の獲得と經營とに苦心慘憺たるものあり而して各國各其國是と殖民地經營の方針を異にせり然れとも數百年の殖民史の敎訓と各國の競爭とは頗る殖民政策の進步を促し英國の勿論獨逸の殖民地政策は大に成功を博し佛國は如きすら漸く治蹟の見る可きを示し我國の臺灣領有米國の比律賓占有は最近を事實に屬し殖民治蹟の良否は未だ許言する能はさるにせよ甚だしき失敗にあらさるは明かなり露國の西比利亞殖民經營の如きも又一異彩を放てる政策なり孰れにせよ殖民地經營の母國の盛衰に及ほす關係の重大なるは史の敎ゆる所なり西班牙の殖民政策の如き頗る寒心す可きものにあらすや我國の政治家たるもの今後益ゝ殖民地に對する研究を重ね其經營を愼重にせすんばある可からす殊に新進急步の我帝國は祖宗の出雲や常陸の殖民經營を別としては十年前の臺灣領有を以て殖民地占有の始めとす明治の初年琉球群島の統治の如き廿年來北海道移民拓殖の如きは未た以て世界殖民史上に語るに足らす從つて我國民の殖民地に對する感念と知識の薄きを知る可し新領土の獲得に依りて有識者間に殖民地經營論起り國民亦殖民地なるものに注目するに至りたるも數年月の間漸く臺灣の統治緒に就くや日露の戰役に依りて朝鮮を保護國となし遼東半島は租借地となし樺太の一半を領有するに至る其殖民關係の複雜なる殖民的能力の充分發達せさる我國民には重大なる問題なり加之滿州蒙古の天地をも我國民活動の勢力範圍たらしめんと欲する以上は非常なる奮發と勉强を爲し精密なる考慮と設計を爲さゝる限りは却つて多望多蔵の巷に徘徊し百年の大計を誤に至らん

予は玆に新領土にせよ保護國にせよ租借地にせよ勢力圏內の居留地にせよ我日本國民の殖民せんとする新天地に對する政策の根底を明白に確定せんことを希望するものなり苟も殖民地を獲得するは其本國富强を確實に發達せしめんが爲め人口の增加の按排物資需要供給の平衡を得せしめ併せて殖民地の文化と富力の增進を圖るにある限りは本國の移住民は年代の久しきと人口の增加とに係わらす永久に本國の政令に服從し本國の繁榮を計り其歷史の光輝を發揚するの義務を負はさる可からす則ち帝國主義の殖民政策を希望するものなり社會的殖民政策の如きは深く排斥せさる可からす如何に福建廣東の支那人か安南より南洋諸島に移住して其富力に依りて故俗舊習を維持したればとて各人の所謂政黨上の殖民にあらす何となれば此殖民の爲にチャイナ帝國は更に國家富强の要素を得されはなり山東省の出働き人は滿洲全圖に移住して此富源を開拓し其勢滔々西比利亞にまて侵入し能く山東晋と支那の風俗を以て社會を風靡したるも其國家の貢献するもの幾何ぞ徒らに北胡の鐵跡の蹂躙に委するあるのみ(此項未完)

●特別任務戰死者招魂祭 日露戰役に於て皇軍連戰連勝克く我武威を宇內に宣揚するとを得たるは直接戰鬪に參加せる幾多戰士の奮鬪健戰に因れるは固より言ふ迄も無しと雖も亦一には特別任務を有せる別働隊の力に俟つもの亦最も多く是等特別任務者の中には或は一人なる者あり或は志士なる者あり潜行深く敵地に出入して多大の任務を遂行し以て我軍の作戰及び戰鬪に貢せるの功や極めて大なりと爲す而して是等冒險の勇士中最も壯烈の最後を遂げ日露戰役史の光彩をして更に一層の光輝を放たしめたる篠田伊藤兩少佐小松大尉及び横川沖松崎中山脇田村諸志士の如き殊に其功績を多とするに足れり是を以て曩に在北京の有志は是等名譽の戰死を遂げたる諸勇士の爲め公使館附武官邸內に忠魂祠を設立し以て其英靈を弔せんとし工事中の所此程全く竣成を告げしを以て今十七日午後第一時を期し盛大なる招魂祭を執行すといふ英魂斯くの如くにして庶くば地下に瞑するを得んか

●軍際慰勞部成績(基督敎青年會) 基督敎徒の隊慰勞部が出征軍隊に對し多大の力を貢献せるとは屢々報道する所なりしが今明治三十七年九月二十七日即ち開設當日より三十九年三月十五日に至る全滿洲に於ける成績を擧ぐれば左の如し

一開設地名 營口、大連、柳樹屯、遼陽、奉天、旅順、永凌、鳳凰城、安東縣の十ヶ所
一開場日數一ヶ年平均 七ヶ月半
一配與書信材料總數 三、三八五、〇二三枚
一寄贈書籍總數 四一六、六四八部
一書籍材料及ボタン類を受けし人 九六五、四二五人
一理髮器使用者 一五二、二一三人
一書籍借受人員 二六、一六八人
一講話其外集會數度 二、三六五度
一鳳凰城にて洗濯者 一八、五〇〇人
一會場出入者總數 一、五六六、三七九人

●鐵嶺陳列館の好況 本月三日開館式を擧行したる鐵嶺軍政署附屬商品陳列館は四五六の三日休業七日より開館一般內外人の觀覽を許せしが每日三百乃至四百餘の入館者あり淸國人の如きも日々四五十名の參觀者あるに至れり內地より陳列品申込も續々あり又買上注文も旣に千圓以上の申込ありて中々の好況にて館員孰れも意外の結果に驚喜しつゝありと云ふ

●鐵嶺奬學彩票の發賣 今回鐵嶺に於ては大連と同じく彩票を發行すること爲れる由なるが其目的は該收益を以て同地奬學義會に寄附するに在りて一票の發賣價格銀一圓總數二萬本中八百二十六本の當り籤あり頭彩一本六千圓第二彩一本三千圓第三彩一本一千圓第四彩一本五百圓にて四月末日鐵嶺軍政署內奬學會內に於て其第一回開票を行ふべしといふ

●郵船大阪支店長の來營 日本郵船會社大阪支店長原田金之祐氏一行は北淸視察の爲め昨日來營マンヂウリヤホテルに宿泊せり

●黒澤副稅務司の北京行 副稅務司黒澤禮吉氏は賜暇を得近日中に歸朝の途に上るへき筈なりしが急用にて遽に北京に出張することゝ爲り一昨日出發せるが二三日滯在の上直に引返すへしといふ

●松榮座覗見 九日より一座車輪の大勉强にて開演仕候と觸込みの松榮座新舊兩刀使ひの女芝居も道具不揃の爲めとかにて一日延びて十日となり十日には荷物不着の爲めとて十一日となり更に十二十三日と一日延ばしに延ばして漸く一昨夜より愈々開演することゝなつて多くの美形が町廻りと云ふ景氣附け永らく閉じ込められた營口には四五ケ月目の芝居嘸ぞ賑ふ事ならんと記者も十時過ぎから出懸けしが大入と迄にはつ行かざるも七八分の入りは結構〱最早一番狂言の新芝居終つて二番狂言の舊芝居阿波の鳴門お弓おつるの親子邂逅の幕であつたお弓役は座頭千代の花布石は一座の座長とも推されるゝ丈あつて能く穿つて居る殊にお前の母は此妾しと名乘らんかと息ふて子の身の上に災難を罹けてはと慮かり云ふに謂はれぬ苦しい愁嘆場の如きは多くの觀客をして漫ろにハンカチーフを濡らしめた、おつる役は美根六、之れも首尾能くの上出來だが躰のこなし具合に少々不足の所かあつた併し飛入り立見の評は却て記者の粗忽かも知れぬから何れ一度ユツクリ許する事にしよう藝評は次回にするが初日早々から小言を云ふやうだが請元の諸君に一つ相談したい事がある昨年平の町の營口座で開演した壯士劇にも注告して直ぐ改良を計つたが外でもない各最負客より俗に云ふ花を貰つた時さ、直ぐ幕內から花の御禮と大聲を揚げ 唸なるのは甚だ氣障りだ別段全体の觀客にお禮を云ふの必要なく又貰つた證據にはチャンと大きなビラを張出してあるのだから夫れでお禮は十二分だ宜敷唸なる丈は廢してはどうかな(不記)

●滿洲座觀劇記(中) 朴[illegible]生

小屋中に歩を運べば入口の正面より少しく左に當つて高等官休憩所の設けあり長方形の卓子を中央に置き四方に腰掛けを配置し卓上に櫻の造花ありて左の如き狂歌を附せり

散りはせぬぞゑ此梅が枝は あまたお客に笑顔はすれど

扨て熟ら〱小屋を見るに其立派さ日本の芝居小屋と一つも異りたる所なく高棧平塲等を設け周圍天井は總て赤白の幔幕を以て蔽ひ舞臺花道に至る迄ことく〱最初より芝居小屋に建築せられたるかと思はれる程立派であつた、殊に人目を惹きしは大山元帥の寄贈せる緞帳にして五色の支那緞子を以てつくり其美麗さ迚ても三府を除くの外は他に見ざる所なり、中央に一字一間內外の大文字にて滿洲軍總司令官大山元帥閣下寄贈とあり光輝燦爛として眼眩す之れ計りにても膽玉を奪はれたる心地せり、此日の觀覽者は大石橋は勿論蓋平海城牛家屯等の軍人軍屬及び鐵道提理部員等にて無慮七百人と注せられたが流石は軍隊の人々と頗る感服したのは斯くも多數の觀客なるにも係らず最も靜肅にして恰も水を打ちたらんが如き有樣は迚ても我樂苦多芝居の比にあらず見上げたものであつた

余は今劇評否駄評を試むるに先ち少しく滿洲座の由來を讀者に紹介せんに抑も滿洲座なるものが如何なる導火線に依つて組織せられたるかを聞くに該座は滿洲軍倉庫長日匹二等主計正が昨年中和克復後沒趣味の異鄉に多くの兵士が快樂とては一つもなく且つは凱旋勇士を犒はんか爲めに種々考案せられた結果フト思付かれたる趣向なりと而かして日匹氏は常に口にして云ふよう歐米の俳優なるものは日常貴顯紳士の間に出入し高尙優美の思想自から備はれるも顧みて我日本劇俳優を見るに役者其者の野卑にして到底歐米俳の優と同日の論にあらさるを非常に遺憾とし一つは日本劇改良の一端ともなるべきを計りて斯くは熱心に盡瘁せられたるものである併し役者の野卑は其罪亦觀客役者を敬重せざるが爲めなりとて昨紙記述の如く觀覽者の心得なるものを揭示し開演中萬一帽子を被る者又は莨を喫する者あらば容赦なく退場を命ずる始末其他靜肅を守る等多くの異例あつて夫れが一々勵行せらるゝに至つては唯々感服仕つた

●營口花信 第三の菊何とかいふ名前からして艶福の多かりさうな帳場さんはお神のお伯父さんに當るさうなが色男の上に非常な藝人であるので何時しかお仲姐さんが引懸かつて了つた否引懸つかつたんぢや無しに引懸けたのゝさうぢやが其れが爲めにお仲姐さん俄に權勢付いて來て他の藝者仲居を鷹風に鼻先きて扱ふ傾があるので藝妓仲居の憤懣一通ならず一同協議の上一夜兩人との怪しき現場を取押へて鼠どんに告訴したる所鼠どんも斯道にかけては中々の粹者と見えて戀愛の神聖を尊重し兩人の關係は不論罪として御構ひ無しの宣告を言ひ渡し其代り仲姐さんは謹愼仰せ付けられ餘り鼻先にブラ下げて恐ろしき權幕を振はぬやうにとの圓ろき裁判で其塲は落着したが其後鼠どん夫婦が一時歸國した爲め兩人が最高の主權者と爲り樓上樓下を掻き廻はすので藝妓仲居等又しても大同團結を作くつて對杭運動を試み一時は大悶着であつたさうなが此程鼠どんが歸つて來たのでお仲姐さんチウと言て引込んで了つたか何うか其處迄は聞かなかつたが帳場さん〱貴方は蟲も殺さぬやうな其優さしい顏でチツト徒が過ぎますよ

●正誤 前號『大連の諸關係を論ず』(三)は(二)の人 昨月日松倉善家君(下の上)は(下の中)の、詩文欄支那美人江南は紅雨の何れも誤植に付此に正誤す

汽車
▲上行車時刻表
車站名 午點分 午點分
新民屯至溝邦子 上 六、〇〇 上 九、五七
營口至山海關 上 八、二〇 下 六、〇〇
▲下行車時刻表
車站名 午點分 午點分
北京至山海關 上 八、〇〇 下 六、二〇

税關手續
一、船舶輸出入荷物取扱

諸鐵工製作
營口 川鐵工

天氣豫報
營口地方
自十六日午後六時
至十七日午後六時

## 小說

新作小說 **おとし胤**（三十八）　德田秋聲

「ほ、其方も逆上のお仲間入かの。何故私等がわからずやかの。」

「わからずやだからわからやすです。ま、お聞きなさい、可いですか。」と、數馬は落着いて、噛むで哺めるやうな調子。「假令仲者の腹から出たにしろ。光さんは、正に兄様の子でせう。腹は借物………ですから、誰でも管はんです、兄様のお胤でさへあツたら、海鹿の家を嗣ぐべきです。嗣ぐのが至當、何んの不思議もありません。私は、知らなかツたから何んだか、一体十七年も打捨てあツたのが間違です。兄様の生涯のうちの大失錯と謂はなければなりません。光さんを打捨てゝ置いてこそ、海鹿の家の名譽に關はるが、これを、正當に、兄様の長女にして、嗣子にするに何んの不思議があります。殊に兄様には、他にお子と謂ツては無い、それで其粒料、光さんを嗣子にしないで、誰に此の家を嗣がせますは兄様が、光さんを大事にせられるの當前の事です。加之海鹿の家の主權者は誰ですか。」

「それは、子爵に違ないが………」

「そんなら。主權者の爲るまゝに委せて置いたら可いです。他から、彼是謂ふことは無い。全て一區にしろ、一家にしろ、主權者の權能は絶對です。また絶對で無ければ一致して圓滿に行くもので無いです。」

「成程、其方の謂やるのも、一理無いでは無いがの。」と後室は、幾らか折れかゝツて「したが何んぢや、嫂様のお心に入ツても見なければならんでの。嫂様には、何うして光を子にして行かれます。」

「何故爲て行かれません。何れにしても、他から養子を迎へなければならんのではありませんか。そりや何んです、嫂様のお腹にお子が出來なかツたといふのは、實に不幸ですけれども、これとても天命なれば致方が無い。強ツてまた光さんがお嫌とならば、これから一人お產みになるのです。」

「ま、數馬さんは、勝手なことを！………お子が、思ふやうに出來るものでございませうか。」と夫人は、打悄れる。

「それ、御覧じろ。思ふやうにお出來になるものでありますまいが、御勝手にお作へになることの出來ぬものでせう。そんなら、出來てゐる子をお子に行かれたら可いではありませんか。全体光さんの何處に欠點があるのです。那女は、生れると直に母に別れた孤兒ですよ、哀な子ですよ。何處に憎むところがあります。殊に怜悧で、僅か半年のうちに、那だけになツたぢやないですか。加之品格も備ツてゐます。」

とてきぱき辨じつける。

後室は、氣の毒顔に、

「これ、數馬、口が過ぎます。嫂様はの、其方を嗣子にとの思召なのぢや！」

「私を？………」と數馬は、眼を睜ツて、やがて、大聲に笑出した「はゝゝゝ、そして何んですか。那の環さんとかいふ方を私に娶せやうといふお考なんですな。」

「然うぢやよ。實はの………」

と後室は、小聲になツて、何やら語り出さうとするのを、數馬は、手を擧げて制へて、

「いや、聞かんでも解ツてゐます。雖然其は、謹でお斷り致します。數馬には、一家の事情の爲に好もせぬ婦人と結婚することは出來ません。所詮其様な怜悧者にはなれませんのです。加之私は、華族が嫌です、大嫌です、次男坊に生れて、家督を相續する義務が無いから、私は實に幸福です、何うか、私の爲に此の幸福を破らんで置いて下さい。私に此の家を相續させやうなぞは、れ考違………思も依らん事ツです。」

「何故かの、何故其方は、華族が嫌かの。」

「何故でも！………理由を說明したツて、阿母様にはお解りになりはしません。要するに、私は、工學士海鹿數馬になるのです。そして來年から獨立するのです。此の決心は、誰が何んと謂ツても、山が崩れて來ても動かんのですから、何うか、お諦めを願ひたい。」

そこで、後室も、夫人も、兼ての計畫が、がらり外れて了ツた。御本尊と仰ぐべき肝腎の數馬が是では何んとも手の付けやうが無くなツて了ツた。


**廣告**

日露戰爭中特別任務に關係を有せる戰死者篠田少佐、伊藤少佐、小松大尉、横川、沖、松崎、中山、脇、田村君等の爲め十七日午後三時北京公使館附武官邸内に於て招魂祭を執行す有志者隨意御參拝を乞ふ
四月　日　内田康哉　青木宣純

**木村寫眞館**
最新流行之
寫眞撮影法に附ては叮嚀且迅速を旨とし光線の配合及位置等に尤も注意をなし各位の御嗜好に任せ撮影可申上候弊館は更に一大勉强をなし價格の廉なるよりも進て調製方を叮嚀になし寫眞一組毎に一枚を相添可申候事に相定申候
營口二本町

**競爭入札廣告**
第一號 一搗粟 約四百石　第二號 一籾粟 約六百石
第三號 一稗 約六百二十石
以上入札保證金各自見積り代金百分の五以上
右賣却す買受け望の者は四月廿一日より四月廿六日迄に當支倉庫に出頭入札心得書、契約書案、及現品熟覧の上四月廿七日午前十一時迄に入札書を當支庫に差出す可し即時開札す
此契約は滿洲軍倉庫奉天支庫長橋元勝造擔任す
明治三十九年四月十二日
**滿洲軍倉庫奉天支庫**

**森病院**
一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
▲患者ノ入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
妊婦の入院を諾す（產婆大道しげ子）
院長　醫學得業士　森矯
副院長　醫學得業士　長船郁太郎
◎院長森矯久敷歸朝中の處今般歸營診療に從事す
◎本院歯科開設　歯科醫　兒島市郎
五月十一日より開設す　森病院

歯ノ衛生治療ハ一日モ等閑ニ附スベカラズ然ルニ當營口ニ良歯科醫ナキハ予輩ノ常ニ遺憾トスル所ナルヲ以テ二三有志者相謀リ在天津ノ該科名醫田添豊三君ノ出張ヲ請ヒ河岸通リ元高田洋行跡ニ於テ本日ヨリ約三週間治療ニ從事セラルヽ事トナレリ君ハ夙ニ天津佛租界ニ於テ開業シ内外人ノ信用ヲ博セラル其治術ノ巧否今復之ヲ贅セズ歯患ニ艱メル諸君及歯ノ衛生ヲ重セラルヽ諸君ハ此ノ好機ヲ逸セズ陸續君ガ治療ヲ受ケラレンコトヲ望ム
四月十二日　營口有志者白

本會副會長子爵長岡護美君本月八日薨去相成候に付來十八日葬儀執行候條不取敢廣告仕候也
四月　日　東京　東亞同文會

十七日狂言　千田川留吉、役割
千代花（番雀、香吉、金巻、
美根代（松吉、千田川、留吉、小梅、
小美樹（源氏節出語り）
美譯次（藤川、天滿屋久兵衛、
美根六（權助、お豐、
美根八　龍竹、雛六、松金屋番頭
美花丸（花岡、藤見ヶ關）
美花吉（仕出し千金丹賣）
美千代
岡本千代花一座　謹言

**廣告**
●金露印日本酒　七百樽
右來る四月廿一日正午茂生洋行（イー、エー、サーヂエント會社）構内に於て競賣に附し可申候
競賣人　チエー、コツク

一料理用白味噌、赤味噌、
一煙草類、東京淺草海苔、木炭、萬醤油、白米、鰹節
一罐詰類、
一瓶詰雲丹、酒盗、コノワタ、
一清酒澤龜特約、並に瓶詰、
一酢、ビール、葡萄酒、洋酒類、
其他日用品乾物雜貨新荷着仕候に付多少に拘らず御用仰付られ度伏て奉願上候也
東營口永世街第廿八号
雜貨商　大原洋行

時下艶春花を見るの好時機と相成候處各位益々御清康の段奉賀候降而弊閣儀料理部開店以來幾多諸君の御愛顧を辱し深く御禮申上候隨而今回旅館部開設いたし室内の衛生裝飾等細大漏らさす御客様への御便利を充分注意致し候間重ねて御引立を蒙り度此段伏而奉願候
營口二本町
祇園閣旅館部
主人　敬白（電話一四四番）
各位

東營口郵便局東隣
●島田洋服店●
新民屯停車場前
●同支店●

御手輕料理
一釜飯御一人前　五十錢より
一卷壽し　一本　十五錢より
一湯豆腐　一壺　廿五錢より
一東京壽し　一人前　卅五錢より
右之外御誂に應す
營口元神廟街二〇九號
月　日　翁亭

**質屋營業**
精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候
營口永世街南憲第三十六號
北斗洋行質屋部

瀛船出入案内
日勝丸　門司、四日市行　十六日出帆
英航丸　神戸行　十八日出帆
能登丸　十九日入港
今回内地去る十日出帆の盛航丸を以て韓國經由牛莊定期航路開始候に付御案内申上候
（神戸、門司、仁川、大連、牛莊）
大阪商船會社荷客取扱所
内外船舶代理貸借仲立
輸出入税関手續
解船人夫運搬請負
諸品委托賣買
水陸輸送貨物仲次所
倉庫業
西北街　德重洋行

和洋御料理
**一力**
舌代
弊店儀開業以來各位の御引立に預り日増隆盛に赴き候段奉鳴謝候隨て今般各位御愛顧の萬分一に酬ひん爲め内地より有名の料理人並に藝者仲居を呼寄せ殺風景なる滿洲に得難き珍味と快感を相供度座席裝飾に至る迄凡て一新致候間續々御來遊被成下度奉希上候
樓主　敬白

會席料理
營口警務課前
**三日月**

**料理部開業披露**
弊館是迄旅館専業に御座候處今般新に料理部を開設し聊か紳士諸君の御引立に報ひんと存候就ては座敷向き等も凡て改築仕日本式の粋を抜き藝妓仲居も弊店付として内地より二十五名計り呼寄せ特に料理は東京有名の厨士を聘し材料に乏しき當地にては不可得珍味佳肴を供すべく一切の準備相整ひ本日より安直を旨とし開業仕候間何卒賑々敷御來遊の程偏に奉希上候
追而料理部開業と共に旅館部にも改良を施し御客様の御便利御計可申候間不相變御引立の程願上候
旅館　第一營口ホテル
料理　第一樓
（電話八四）

和洋會席 **御料理**
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町
**日本館**（電話百三十）
各位樣

料理
**滿月**　平の町（電一六三）
滿月支店　平の町（乙都樓隣）
店主　[illegible]

廣告

當公司今般業務擴張の爲め特に敏腕熟練なる技術者數名を聘し公私を問はず和洋各種の建築及土木事業に關する製圖設計監督の依托に應し最も懇切敏速に處辨す

建築部主任技師工學士 森川範一
土木部主任技師 永原万吉
營口元神廟街第百七十二號(電話一七三番)
土木建築請負業 井上公司

萬代不朽 毛製屋根瓦ラバロイド及リサイト販賣廣告

ラバロイドルーヒングは堅牢にして極寒炎暑の候に耐へ如何なる地にても不適の場所なく龜破損漏氷の憂なく良く極寒炎暑の地に適し床及階段等の敷物に有効なりリサイトは室內装飾塗料にして通常ペンキの如く臭氣なく變色の憂決してなし

米國紐育スタンダードペイント會社東洋特約一手直輸入販賣元穴原商會營口特約販賣店
營口元神廟街第百七十二号(電話一七三番)
井上公司

醇良自釀清酒

エジプト煙草
インペリヤ(金口)
ヱキスタラフワイン(キルクロ)
右特約仕代價者精々安價にて賣出し候間多少に不拘御用命被下度候

牛莊港東營口
宅合名會社
營口支店

最新婦人用小間物
春夏帽子襯衣下
新柄反物
最新雜貨
着荷 新着荷
並に附屬品 寫眞版 膳月堂羊羹 風月堂 鹽湯利用 香煎各種

天野洋行
(元神廟街雜貨商)
(電話三百十七番)

銘酒 白鶴
諸雜貨

今般新荷着仕候に付ては卸小賣とも是迄の賣直段より壹割引
酒及米、鑵詰類は五歩引を以て販賣仕候間多少に不拘御用命被仰付度偏に奉願候 敬具

營口元神廟街
井門洋行
遼陽西門外
仝支店

大日本東京
本舗 山崎帝國堂薬房處修

腦丸
天授
天授者天下多多有咳嗽藥中之冠也たんせき、ねつさましの一切の妙藥
腦丸者天下唯一之腦病靈藥也腦病の名藥にして他に類なし

大清國
營口大街(永世街二本町)
總批發處
藥司洋行 淺野三郎
福壽堂大藥房
醫械華名材有藥
總發賣處

清國營口二本町二五五號
主任 鹽川峯吉
(電話一三六番)

材木 樽子 木板
發賣
塩川商會
遼陽小西門內
鹽川商會

外に電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八十本
建築用材北海道產松大角(自廿五尺至三十尺)二万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

日本有名秘藥物發售廣告

營口大阪永井街各國春回 三木洋部漢總販賣所大賣省堂
右品者以前大阪以有名藥品從來廣告中日本內地各處均有發賣(?)

右の外日本有名賣藥一切小賣並に卸賣

回春堂天木洋行
(電話百九十番)
三木法部東鄰
大藥房 啓

業務擴張

弊所儀從來活版印刷業罷在候處今回業務擴張の爲め印刷器械並に歐文活字を購入し更に歐文印刷部を新設し且つ技術に熟練なる職工を聘傭致從來の御高恩に酬がため非常大勉强仕高需に應し可申候條尚不相變倍舊の御愛顧を垂れ御用命被仰付度伏て奉懇願候 敬具

活版印刷
并に製本
弊所特色
●印刷鮮明
●價格低廉
●叮嚀專一
●期日正確

營口永世街二本町東口入角
川本活版所

胃腸病新藥
消化劑
糖化素
医学得業士 矢島氏發見
滿洲特約一手販賣
東瀛大藥房
營口大街

本劑專治脾胃失調飲食不化之諸症飯後脾胃疼痛過用米麵積滯腹瀉脚軟心驚婦人懷孕患嘔吐之症熱病稍愈腸胃未至於調和又如停食胃口不開肝胃氣痛肚腹膨脹兩便苦澁之諸症均有卓効
發明者日本醫學得業士
矢島猴太郎 謹白

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿州一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

軍隊用雜貨
日用品雜貨
吳服太物類
化粧品類
陶器類
食料品類
卸小賣
其外新荷着精々安價販賣
營口永世街七十號(第二市場東)
石原商店

官製口付莨、文房具
和洋酒類
鑵詰、菓子
藥品、雜貨
醬油瓶樽詰
防寒具、安價販賣
白米
卸商
營口西北街
豊生洋行
(電話十三番)

M. Iizuka.
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.

Plans and specifications made to order.

ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館 東京樓
店主 熊田兼次郎
(電話百七十八番)
御料理 和洋料理 東京樓支店
(電話四十四番)
西洋料理仕出し御需に應ず

時刻

| 唐山至天津 | 塘沽至北京 | 天津至北京 | 山海關至北京 |
|---|---|---|---|
| 上六、一二 | 上六、〇〇 | 上一二、〇〇 | 上八、[illegible] |
| 上一一、二八 | 下一二、〇六 | 下五、二〇 | 下六、四五 |

| 天津至山海關 | 唐山至山海關 | 山海關至營口 | 溝邦子至新民 |
|---|---|---|---|
| 上六、二五 | 上六、〇〇 | 上七、〇五 | 上三、〇〇 |
| 下六、二一 | 上一一、五八 | 下四、五五 | 下六、五七 |

輕便入院　永世街警務課ノ前

一、引換書御送附ニ相成レハ諸費立換ヘ配達或ハ保管可申候
市場北三階樓時計店ノ二階　宮原公司

土木建築用鐵材料一其外錦物諸般　門街東

## 宮門抄

十八日
工部　鴻臚寺　正藍旗值日無引　見　榮公等由口外賜奠回京請
安　達壽謝授缺　恩　順王請假五日　張德彝英勛英秀伺候
召見
召見軍機　張德彝　英勛　英秀
十九日
內務府　廂藍旗值日無引　見　曾鑑段書雲伺候　召見
召見軍機　曾鑑　段書雲
二十日
理藩院　光祿寺　八旗兩翼值日無引　見　分發知府琦良謝
恩　徐宗溥英俊伺候　召見
召見軍機　徐宗溥　英俊

## 上諭恭錄

十九日奉
上諭直隸河間府知府員缺着齊耀琳補授欽此
旨寧夏副都統成鶴着開缺寧夏副都統着志銳補授欽此
二十日奉
旨錫濟爾琿着賞給副都統銜作爲伊犂索倫營領隊大臣即行馳赴新任欽此

## 論說

### 論國民捐爲當盡之義務

國於天地。必有與立。其所與立者民焉而已。民生兩間。必有所依。其爲所依者。國焉而已。由是以觀。則國爲民所組織。民爲國之城壁。相維相繫。相須相成。而不可稍有隔閡者。其中密切之關係。固無俟智者而始辨矣。自專制政行。壓力是尚。斯民之情愫。無由上通。國家之恩膏。不克下逮。以致君門萬里。閭閻之疾苦何知。高拱九重。稼穡之艱難未悉。況乎司牧者。威權在握。逕行其朘削之爲。分治者。政柄稍持。亦縱其貪婪之志。而國民之生機蹙。感情消雖愛國之心。由於天性。而牛羊從牧。桎梏相攻。有不日見其濯濯者。蓋未之前聞也。今也立憲政體。倡於　朝廷。下及官紳商庶。稍知時務者。類莫不以此爲當務之急。將見新政布而民獲自由。自治成而主權愈重。此非吾民所馨香以祝禱祀以求者歟。雖然國權重而民力得伸。國債多而民生亦困。地方自治各新政。有不克計日施行者。以故近日各省有志之士。皆以提倡國民捐爲要務。其捐首於京津。漸推及於各行省。而我滿洲一省。亦有創辦之舉。甚盛事也。溯查國民捐之起點。始於法人。當普法之戰。法師敗績。普軍進據巴黎。要索賠欵。至八百餘兆之多。法值挫衄之餘國帑空虛。莫由償付。普則駐軍境上以脅之。法人憤激。遂倡國民捐。一澇償清。卒退普軍。地方之行政權。既無所掣肘。百度維新。至今猶爲歐西强國。則其國之轉弱亡而爲强者。推原其故國民捐之力實居多數。中國自庚子之變。聯軍入京。賠欵甚鉅。國家之進欵。祇有此數。而欲盡舉以償外債。上自宮廷之用支。官僚之薪俸。以及興學練兵築路諸要政。既無所措注使皆加之於賦稅之中。國家以愛民爲懷。又不屑以斂箕之行。取怨於下。是國家萬難措置之事。即吾民所不可不加意而維持者也。何者國家之公債。非國之事乃民之事也。民之所輸納於國者。無非行政之資。而外債不清。外人多有所藉口。或侵我主權。或奪我地利。萬民之生計。將日見其艱。不觀以往之事乎。聯軍在境之日。我民所身受者。若何其酷虐。乘輿既返以後。我民所身受者。若何其自由。對鏡參觀。則吾國民愛國之眞誠。自宜勃然動油然興。而毁家紓難之事。或不僅讓古人專美於前。亦未可知也。矧我同文之國。首建此議。謂國民捐一項。如足賠欵之數。即將此項退還中國。以爲創辦新政之助。美國亦表同情。外國尚復如此。吾同胞國民與國家均有休戚之關係。其感發興起又當何如耶。願以告我同胞四萬萬。有愛國之思想。而能盡其義務者。

## 北京電報

**●外部電催吉帥** 此次外部因各國間有設領事署於長春之議即特電催吉林將軍爲預備云

**●俄使照會外部** 駐京俄國欽使璞君日前照會外部擬即設俄國領事署於烏里雅蘇臺云

●俄擬設交涉局於庫倫　聞因庫倫地方致中俄交涉日繁俄使又欲設交涉局於該地刻已與外部開議云

(以上西四月十六日發)

## 中外要聞

●稅司條陳　聞外部人云日前赫稅司至外部請代遞條陳一件係爲各省稅關偷漏積弊幾同漏巵請於稅關添設洋員總司出納等語外部代爲具奏已交政務處妥議矣

●南昌教案續志　中法兩國專員會議時中國各官指明江大令係被戕而法參贊則謂係自刎各執一說堅不相下故已訂定將此事暫行擱起專議初三日鬧教之事

●德使警告　文匯西報云傳聞駐北京德使默穆男爵於二月念四日警告中國政府謂閩川兩省仇教之事將見中國若不趕緊設法挽回此事則各國定必乘機要求權利而德國盡力使各國之兵退出直隸一事亦恐終難見效也

●催辦法政學堂　政務處議迭咨各督撫迅設法政學堂考取候補道府以至佐雜鹽務人員入堂肄業專習裁判理財交涉學務諸要政務須早爲開辦不准觀望遲延其有設立者飭令隨時改良原有課吏館亦着改爲法政學堂以期循良可選政治修明

●緩設陝新總督　學士惲毓鼎前奏請設陝新總督政務處議以空言建置不如實行墾牧擬飭伊犂將軍趕辦一切要政俟有成效應否建置再由長庚請　旨奉　旨依議

## 雜報

●汽車炸藥　昨聞西來人云某車站寓有私販火藥客前二日暗購火藥若干包藏諸箱內執役不知竟將該箱裝近汽車至沙後所地方南風猛甚烟桶噴燄飛侵箱際詎將火藥燎炸轟然一聲該車鐶鈎俱爲迸斷車具盡燃風威焰烈鐵路亦被燒赤聞該站長定要該客如數賠償云云

●稅役擾民　嘗聞官場人云關東三省舊有牛馬驢騾等稅然惟集鎭市場出售或由邊外驅群來者則徵之該欵盡名官吏私飽　朝廷未必實有得焉昨聞山東孤山子村民來云該處有李姓者家畜一驢被大石橋稅卡巡役查見決捐銀洋五元李再四哀懇求減不允役牽二驢至卡李後央人關說乃捐一元將驢牽回或曰初則決捐五元繼乃竟捐一元任意多寡有如是之稅章耶

●海賊刦船續聞　昨報署載港外海賊刦去民船一則今乃詳聞消息統刦四船實有阜內于萬順一船齊萬順一船原姓網船一河北孑科馬姓船一之四船者俱係新造船堅且速故海賊見而垂涎一并刦去云云

●惡少橫行釀命　昨有東鄉人云蓋界北柳樹屯有李氏兄弟二人與一張氏惡少曩充團防練勇黨而肆橫與類青皮其鄰村夏家屯附近之小橋子居民劉姓者以賭爲業時常設賭因地勢孤僻官役未聞該四人知之前數日夜間特往尋疵入門强賭劉以誰讓辭之不得遂相決裂張出手槍射中劉胸立時斃命四人乘勢逃遁緝捕無蹤今聞劉大令帶同刑件躬往勘驗云

●有女仳離　昨聞東鄉人云該處居民韓某夫婦性多樸一女閨訓素嫻幼許字柳樹屯李氏之子即前言小橋子槍斃人命之逃犯也富女于歸未滿三月今即因事遠逃一去不返女乃堅貞自守孝事翁姑迄今十二年今前月始回夫妻久別不啻破鏡重圓不意前日復遭人命牽累依然遠逸天涯海角莫可追尋或日該女苦況更不知伊於胡底云

●聯會拒兵　蓋城東南沿海一帶北距岫岩二百八十餘里多屬岫界雖屬隙灘僻隅民多殷富據彼處人云近數年有游擊營隊每往該處以游巡爲名實視鄉民爲魚肉凡鄉會所備旅店飲食一概不受必須住宿富民美宅擇用盛饌豕羊鷄鴨捉殺一空種種虐端不堪枚舉或誘賭栽贓傾家數四致鄉民咸起公憤因結聯莊團會守望相助後凡該隊夜間强入鄉里該會即扼要鳴槍拒之該隊無如之何論者或以爲盜匪冒充官兵不然該會團公然抗拒該隊豈肯甘心耶

●車行宜愼　今晨有一裝洋面之大車至老爺廟後忽然驚逸致將一老者碰倒其車如飛而去衆人驚恐速往扶救幸未受重傷云云

●海賊刦船　本埠第四甲居民有新造萬順船於前年出塢聞中途遇賊漏搜艙內盡貯氷塊實爲備販鮮魚之用該船長携帶貲本先乘輪登岸賊等無財可刦將該船夥六名脅拘一艙棄彼先借之敝船告轉至該船揚帆乘去聞該船夥六名計劉宏福李明劉殿榮高雲胡慶祥及一張姓者云

## 叢談

●捷才　川南李孝廉大蓉卓絕生平著作等身每游吳越湘淮所著日記詩章皆琅琅可誦其韶齡時爲業師楊明經所最賞識師有友來館坐談見其頭角崢嶸戲語之曰李生能對乎起應之曰請命題案適有上論語一本當指色難二字囑對李立云這谷易對得很旋退就坐位如常客以爲不曾對出遂催索之問李生胡不對師代答以渠已對了且極工穩剛纔所稱容易兩字豈不是難的好對仗麼相與稱贊敏捷而散

●捷對　某縣令以即用到省稟到甫成進士衣履不甚完備見某中丞時所著夾襯衣係淡紅洋布作裏送茶畢中丞囑目視之月紅裏外露戲謂之曰新令尹暗藏春色縣令以敏捷應聲曰大中丞明察秋毫無心之流露已自成絕妙對聯矣一時官場中人偏傳爲佳話焉

NEWCHWANG, TUESDAY, APRIL 17, 1906.

A Kindness That Is Not Wasted.—(Part XIII.)

The German motive of this partial evacuation is all too obvious. It is only to cut off needless expenditure, but nothing more. Germany is of course entitled to every credit for this happy stroke of wisdom. However, we utterly fail to see in it any other significance.

Many have been ascribing to Germany a deep respect to China's suzerainty which is said to have grown up out of nothing suddenly into huge proportions. They say that, inasmuch as China can now protect foreign life and property on her soil, Germany has taken it an insult to China for the Powers to keep as a mark of distrust their own garrisons in Chihli. It is further given out that Germany, in her eagerness to save China's face, has proposed in the Kaiser's name for the removal of this insulting feature. And gossip has been busy circulating reports of the indefatigable efforts of the German Minister to that end all these 5 precious months, particularly during the last one, as if his life had depended upon it.

These talks are not very easy for us to believe, who have heard so much of Baron von Mumm as the most brilliant diplomat at Peking.

In the first place, what the deuce has made Germany leave 700 men behind, if she had sincerely trusted in China's policing ability, as so reported? Japan has at no time since the Boxer trouble stationed more than 1,000 men in all for her quota. Whatever magic difference can this excess of 300 in number make that Japan should be earmarked for a nasty bully that squats in China's way and incidentally Germany's too?

In the second place, the withdrawal by the Powers from the 4 outposts only would appear so very insultingly puny for the net results of 5 months' strenuous labour by a German representative of the Baron's reputed brilliancy.

In the third place, whatever can strike China so profoundly grateful in this empty propaganda, as if it were worth a first-class decoration?

---

The "Easter Sunday" was observed at Newchwang with quiet solemnity. St. Stephen's Church was decorated with flowers for the festive occasion. Rev. Mr. Sprent, the pastor, gave an impressive sermon to an unusually large congregation, in which local youth and beauty were represented in a body.

---

Capt. T. M. Archdale, Royal Field Artillery, arrived here by steamer from India after a travel in South China. The British officer will leave for Liaoyang to-day, to make a tour of Manchuria before proceeding to Japan.

---

Mr. R. Kurosawa went up to Peking by Sunday morning's train and will be back in a few days.

We learn that, owing to his prospective leave of absence, Mr. T. Ebara of the Foochow Customs has been appointed to be Acting Deputy Commissioner at Newchwang on Mr. Kurosawa's departure and is expected here soon.

---

Messrs. Percy A. Augier, T. L. Fraser, F. J. L. Shaw, and C. Markus, all of Tientsin, arrived at the port last Sunday and have registered at the "Manchuria."

---

We understand that the Chinese Post Offices at Siu Yen (岫岩) and Takushan (大孤山) have been re-opened, and the courriers are despatched from the port every other day with the mail matter. The Feng Wang Cheng (鳳凰城) Office will also follow in a few days.

---

The latest Tokyo telegrams state that the customary Cherry-Blossom-Viewing Party will be held at the Hama Detached Palace on about the 20th inst. Mr. Wright, the American Ambassador to Tokyo, is due at Yokohama on about the 14th of May. Marquis Ito has wired a message of sympathetic solicitude to Prince von Buelow. A second severe shock of earthquake visited the same afflicted section of Formosa on the 14th inst., working fresh damages of considerable magnitude.

In view of some of the Powers being desirous to open a consulate at Kwanchengtse, the Wai Wu Pu has instructed the Tartar-General of Kirin to institute the necessary preparations. M. Pokotiloff has suggested to the Wai Wu Pu the desirability of establishing a Foreign Bureau at Kulun on account of the district being honeycombed with matters of international interests between Russia and China.

---

No changes have come over the exchange rates, since.

豫報

昨日の氣溫
最高溫度六十四度六
最低溫度四十六度四
昨年との　高十八度〇　高十度三

## 營口旅館料理店案内（いろは順）

料理 **入船亭** 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 **日營ホテル** 河岸通り 店主 井上源吉

料理 **東京館** 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 **東茂旅館** 西北街百七十三號 正金銀行西三程

料理 **沖の島** 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 **千鳥** 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 **吉野亭** 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館料理 **高砂ホテル** **高砂亭** 西北街 店主片山小みつ（電話一四五番）

旅館 **竹村館** 永世街二十二號 店主 麻田久二（電話五一）

旅館 **大和館** 永世街三十四號店主前田九一郎

料理 **滿洲樓** 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 **萬梅** 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 **まんなをし** 永世街字二本町二百五十九号 店主 和田常松

和洋御料理 **公樂園** 南永世街

東京 生蕎麥 一式 **東庵** 元神廟（電話百五十九）

旅館料理 **金城ホテル** **第二金城ホテル** 永世街百六十六號 永世街百六十六號 店主齋藤富次郎

料理旅館 **醉花園** **滋谷旅館** 永世街百二十七號 店主 滋田留吉

料理 **喜樂亭** 營口元神廟街

旅館 **東雲旅館** 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署 御用旅館 **東雲** 主任 谷口今朝太郎

さるそば 第一更料 さるそば 第二更料 營口元神廟街 永世街鶴の湯角

御料理 **柳亭** 叮嚀專一 豊濟門街二三 店主 玉岡益人

御料理 並ニ温泉 **一力** 毎日新湯 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 **松月亭** 營口元神廟街一四三号 住松信太郎

料理 **都樓** 平野町 店主 坂本ちか

## 遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 **日營ホテル支店** 主任 井上源吉

御料理 會席 **菊水館** 主任 朝枝園摠

旅館 西洋料理 **遼陽館** 主任 永瀬宇吉

旅館 料理業 **公陽館** 主任 宮川秀基

御料理 會席 **末廣屋** 主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文 **凱旋亭** 主任 古谷庄太郎

旅館 御料理 **遼塔ホテル** 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル **遼陽倶樂部** 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 **玉家** 御料理 主任 西野治三郎

御料理 會席 **來々亭** 主任 石田清

和洋料理 御旅館 **滿洲ホテル** 遼陽西街西門一一七号 上松榮治郎

## 奉天旅館料理屋案内

一和洋御料理 **遼東館** 遼陽城内東街

本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君御勸に依り宏荘美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彦に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

旅館 **奉天館** 奉天城内鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館（電話一五）

和洋御料理 **日淸倶樂部** 奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿 **瑞豊館** 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話　號）

會席御料理 高等御旅館 **天神樓** 奉天小西關大街北側（電話　號）

旅館料理店 **日の出樓** 温泉付大勉強キレーデヲイシヒ 奉天小西門通（元紅葉館跡） 樓主 大瀬七造（電話十七號）

旅館料理店 **日盛館** 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男（電話　號）

旅館 料理店 **梅松館** 奉天城内灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話　號）

旅館料理店 **大和館** 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井コノ

旅館 **大正館** 奉天小西邊門外十間房道北側 館主 大草村行

奉天に於ける日本風新築家屋は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適すべき樣に相成居候間御投宿の節至極便宜に御取扱可申上候以上

御旅館 御料理 **高砂館本店** 奉天十間房第十五號

高砂館支店 **奉高館** 奉天城外廿四號 店主 宇本智平

旅館料理店 **日奉館** 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎

高等旅館 **東洋館** 奉天大西門外小什字街（電話　號） 主任 藤島初野

御料理 **梅ケ枝** 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

旅館料理店 **勉強館** 奉天小西關外北長發園隣

高等御旅館 **茂林館** 奉天小西關大街路北（電話二十五號）

---

**撫順炭大販賣**
多少に不拘御用命被仰付度願上候
**金城館 販賣部**

**特別室落成**
營口 金城ホテル **旅館部**

**會席御料理 金城館**

奉天 小西門外
**會席御料理 高等御旅館 金城館**

---

一**關内外廬漢鉄道貨物運輸** 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一**海關手續** 事務取扱 但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ
一**鈔關手續** 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一**船舶貨物取扱**
一**其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業**
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
**大淸通運公司 營口支店** 營口西北街第二七二號

---

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ぶも尚ほ不拂の御方は其姓名を掲げ新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相成度右は同業者協議の上及廣告候也
**營口旅館料理屋同業組合**

---

歐米各國最新流行形
**西海洋服店**
永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

---

自造 煉瓦●瓦 並に各種石材販賣
營口青堆子 **加州組**（電話八十六番）

---

**新荷着**
▲板材木 ▲木炭
▲生石灰 ▲竹
▲亞鉛板 ▲洋釘
▲日本米 ▲疊
營口永世街八十號
**喜久洋行**（電話百五十二番）

---

NEW ARRIVAL.!!
Nicely decorated China-ware,
Doll pin cushions,
Looking Glasses, Artistic paper lanterns, etc.
S, KATO & Co.

**新荷着**
寫眞ブツク、寫生帖、手帳、不易糊、**久留米絣**、信玄袋、時計袋、ハンカチーフ、トランプ、歌かるた、碁器、將棊、**窓掛レース**、提灯、有明行燈、蓄音器、ステツキ、下駄、唾壺、理髪道具、京都松風燒**歐州風陶器**、舶來ニツケル台**鏡**、化粧品
其他味淋、鑵詰等色々參りました
營口 **加藤洋行支店**（電話八十番）

---

營口元神廟前
**飯塚工程局材料部**
弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、砕石、煉瓦等
一日本石炭數種
（電話百三十五番）

---

大連 **東洋ホテル**
大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

---

西洋家具 製造販賣
營口青堆子
**清水寧木局**（電話九十四番）

---

**美味安價西洋料理 牛莊亭**

---

為替相場（四月十六日）

| | | |
|---|---|---|
| 日本向 | 九十九圓五十錢 | （軍票百圓に付） |
| 上海向 | 七十一兩二十五錢 | （同） |
| 天津向 | 一百〇二圓五十錢 | （同） |
| 芝罘向 | 一百〇三圓五十錢 | （百弗に付） |

日本品最近物價表 加藤洋行
一半紙 一美濃紙 一紙類 二圓九十錢より三圓廿錢 七圓五十錢
一狀袋 二十枚綴 三錢二厘以上四錢 百枚 十三錢以上十八錢
一蒲團 三枚組 室内装飾品及寢具 矢野洋行 六圓九十錢以上 十六圓五十錢
一疊 一薄べり 一麻縁 一綿縁 二圓六十錢以上三圓 十枚 八圓 一疊敷 三圓 三圓五十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.

本紙定價

| | |
|---|---|
| 一枚ニ付 | 銀四仙 |
| 一ヶ月前金 | 洋銀八十仙 |
| 半ヶ年前金 | 四弗八十仙 |
| 一ヶ年前金 | 銀九弗六十仙 |